

あさかわ

議会だより

No. 107

平成29年5月10日

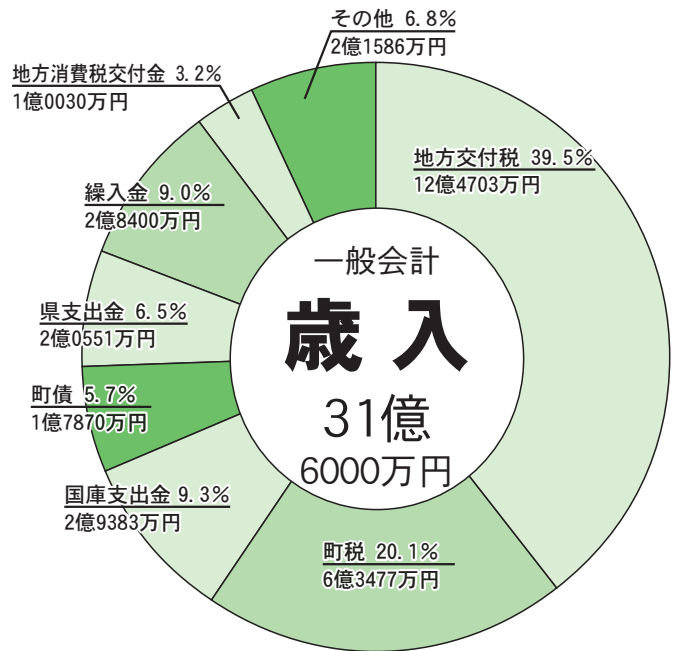
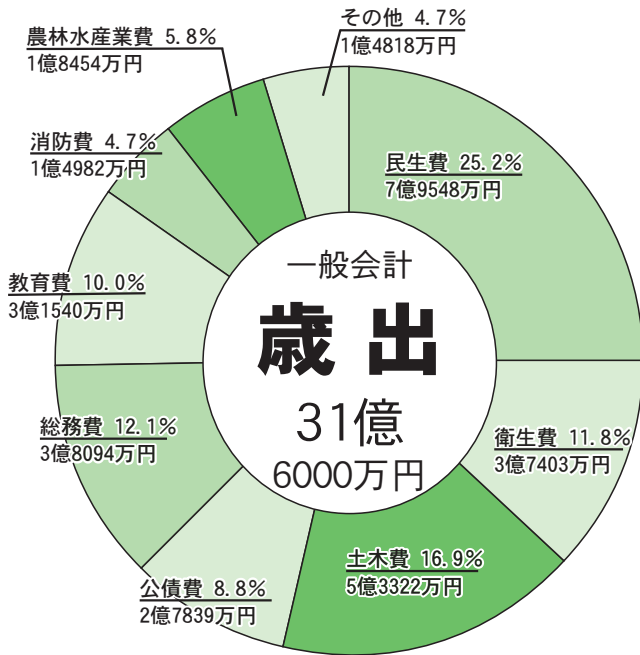
福島県浅川町議会

ずーっと友だち

浅川保育所満了式

新年度一般会計予算を審議	2
山白石特別保育所を廃止	9
一般質問 6人の議員が町政をただす	14
追跡 城山・弘法山	21
シリーズ43 浅川の歴史さんぽ 最終回	23
町民の声	24

平成29年度一般会計



%は構成比、単位：万円
構成比の合計は項目ごとに四捨五入の処理をしております100%になりません

・ 授業料を無料に

3月議会定例会



3月議会定例会は、3月2日から8日までの7日間の会期で開かれました。

町長の施策方針では、平成29年度から子育て支援をより充実するため、幼稚園入園料と授業料を無料とすることや、「基盤づくり、産業づくり、人づくり、暮らしづくり、文化づくり」の基本的な取り組みを誠実に実行し、町民全員が笑顔で暮らせる町づくり、町民一人ひとりが住んでよかったと実感できる町づくりに全力で取り組むことが表明されました。

一般質問には6人の議員が立ちました。教育・福祉・生活環境など24項目について質問が行われ、活発な議論が展開されました。

また、条例改正や平成28年度補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

平成29年度一般会計、特別会計など合わせて9会計の予算については、すべて原案のとおり可決しました。



緊張しちゃうー浅川幼稚園の卒園式ー



幼稚園入園料

幼保一体化施設 整備事業

8550
万円

園で使う備品購入費。遊具購入費3,150万円、
連絡用自動車購入費150万円など

地方創生事業

2805
万円

- ・四季花火打ち上げ
- ・小さな拠点づくり
- ・定住、移住、居住整備

図書館費

3783
万円

寄贈を受けた旧診療所建物を図書館にする
ための改装工事費

森林再生事業

5200
万円

城山の間伐計画作成及び同意取得と町有林
の整備事業

平成
29年度

一般会計予算

元気高齢者登録制度・巡回バス運行
事業の内容は

問 地方創生事業の中で取り組まれる元気高齢者登録制度事業と、巡回バス運行業務委託の内容は。

答 元気高齢者制度は、元気な高齢者が農産物を自家消費以上に作っている、それらの野菜を加工商品に向けたらなという事で計画した事業である。

巡回バスは、29・30年度は試験的に運行する。29年度は旧小学校単位の大草・山白石・里白石と町の間で運行したい。コースについては今、意向調査やアンケート調査を行っているところである。



役場庁舎を新築する考えは

問 今、宅造会計から役場庁舎建設基金に繰り戻しがなされており、耐震基準を満たさない役場の建設に国が補助金を出すようになったので、町では役場を新築するのかわという声があるが。

答 この庁舎は耐震基準を満たしている。理由は、昭和58年に増築した際、建築確認申請は耐震基準を満たす措置を求められ、そのように措置したため。新築については、わからない。

人事評価制度 職員の
能力開発の効果は

問 人事評価制度の目的は職員の能力開発ということだったが、1年間やって効果は。

答 人事評価は目標管理制度をとっている。各職員がまず目標を立て、その目標に対して中

間評価と期末評価を行っている、目標が達成できたかできないか、できなかったらどういう理由でできなかったか、できたかすればどういふところがよくできたかと評価するので、職員の向上に大変寄与している。

ここが聞きたい！

町内企業雇用促進助成金
初の助成金だが内容は

問 町内企業雇用促進

助成金、1人10万円、
10人分100万円が初
めて計上された。この
助成金について詳しく
説明を。

答 交付の対象者は町

内に事業所をもってい

る人。その人が、浅川

町出身者を正規雇用し、
雇用保険、社会保険に
加入させ、採用から6
ヶ月経過すれば交付の
対象になる。雇用開始
後は1ヶ月以内に町に
住んでもらうという条
件も加えている。

町内の『銘木10選』で浅川町の押し出しを

問 他町村では立派な

木に名前をつけ、案内
看板を立ててPRして
いるが、町にはそうい
うものはない。しかし
弘法山の山桜など素晴
らしい木はある。例え
ば浅川町の銘木10選と
いう形で、浅川町には
こんないいものがある
よと売り出すべきでは
ないか。

答 例えば浅小のイチヨ

ウも銘木の対象になる
し、松野入にもものす
ごい桜がある。選んで
もらう基準の検討をし、
名前をつけるにしても
順序を追って、皆さん
といい方向にやる努力
をしていきたい。



弘法山のみごとな山桜

東電にした賠償請求 未払い分の見通しと対応は

問 東電賠償の請求・領収の一覧表をもらったが、例えば原発事故で学校のプールが使えず近隣町村の屋内プールを使うためバスを借りた費用まで東電は払っていない。未払い部分の見通しと、東電が払わない場合の対応は。

※ 東京電力への損害賠償請求及び領収一覧によると、一般会計では平成23年度分、24年度分合計で1682万5111円を町は東電に請求。うち領収したのは1139万0697円で、未収は543万4414円となっています(平成29年1月31日現在)。

わが町の子どもの 出生状況は

問 浅川町の子どもの出生状況は、平成26年、27年、28年それぞれどうなっているか。

答 平成26年は56人、27年は39人、28年は32人という状況になっている。

森林再生事業で城山を 花見山にできないか

問 福島森林再生事業で城山の下刈などに取り組むということだが、鮫川村の館山のように植栽をして花見山、里山をつくることはできないのか。

答 この事業はあくまで山林の手入れで、公園的な所を手入れすることはできない。主な作業内容は山林部分の間伐で、山頂の保安林の所を除く山一帯約30ヘクタールを予定している。

過疎債発行の 可能性は

問 わが町の人口減少予測もかなり厳しいが、浅川町が過疎債を発行できる町になってしまいう可能性は。

答 過疎地域自立促進特別措置法の中に過疎地域に指定されるための要件がある。特に人口減少率で、35年間で25%以上という規定がある。国政調査や人口の推移を見ると、浅川町が過疎法の支援を受けられるのはかなり困難だと思っている。

答 28年度もずいぶん東電の担当者と話し合いをしたが、未払額については要綱と照らせばなかなか支払えないという返事だった。私どもの小さな町だけで要求しても目標には達せないで、団体や組織がまとまってやるのが大事なかなと思っている。



交通ルールを守ります



殿川に植えられた桜 土木事務所との協議 内容は

問 殿川の河川敷に在京浅川会から贈られた桜の苗木が植えられたことについて、石川土木事務所と交渉があったようだが、どうなったのか。

答 土木事務所長に、

切らない方法で残させてくれとお願ひし、最終的には、植栽者が管理できなくなったら町が責任を持って管理すると同時に、堤防が崩れたり危険なものは切るということで認めていただいた。

幼保一体化施設 新たに購入する備品は

問 幼保一体化施設の備品購入費8550万円の内容について詳しく説明を。

答 遊具購入として3150万円を計上しているがまだ具体的には決まっていない。役場

との連絡用に自動車購入費150万円、ほかにテーブル、書庫、パソコンなどを更新する。調理器具はIH仕様になっており、浅川保育所で使っている調理器具は全て更新する。

討論

― 反対討論 ―

上野議員 若い人たちが地元に残れるよう企業誘致などに真剣に取り組んでほしいというのは全町民の願いである。ところが一般質問で明らかになったのは、町内企業が町外に出て行く事態に何とか町内に残ってもらう努力を最後までしなかった事実である。また、幼保

用地として簗輪の畑を1㎡6千円で買った結果、その後の用地買収でも畑を6千円で買うことになった。行政はどの町民にも公平でなければならぬという原則を破った結果であり、今後の町政に大きな障害となる。

― 賛成討論 ―

久保木議員 本案は、定例会初日に町長より提案説明があった。各政策とも計上され、厳しい財政の中ではあるが、町民福祉、生活向上に非常に重要な政策

ばかりである。さらには各担当課長からも補足説明があり、皆、その施策においても重要なものばかりである。よって本案には賛成する。

採決

賛成8人、反対3人で可決しました。

ここが
聞きたい

特別会計予算

国民健康保険特別会計

— 医療費の支出は下がる見込み —

問 28年度の実績から29年度の保険給付費が下がる見込みとのことだが、どのような状況なのか。

答 保険給付費は28年度、非常に落ちついた状況にある。予算額に対して、だいたい5%程度マイナスになっている。

るようなレセプトもこれまでであったが、今年度は落ちついている。

【採決】
全会一致で可決しました。



地域づくり講演会の2回目

後期高齢者医療特別会計

【討論】

— 反対討論 —

角田議員 高齢者をうば捨て山に捨てるような、後期高齢者医療制度自体に反対する。

— 賛成討論 —

江田議員 この制度はなくてはならない制度なので、賛成する。

【採決】

賛成9人、反対2人で可決しました。

宅地造成事業特別会計

— 宅建業協会の協力得て分譲図る —

問 特別分譲はことしの4月31日までの期限。平成29年度の販売について、新しい構想・考え方は。

答 県の宅地建物取引業協会の協力を得ることとで了承を得ている。アイデアとご指導があればそれらを参考に、予算的な措置も十分検討し、販売に努めたい。

である。

— 賛成討論 —

上野議員 地方創生事業を活用して2区画を分譲し、それから県の宅地建物取引協会の協力を得て、何とか分譲しようという努力を評価して賛成する。

【採決】

賛成10人、反対1人で可決しました。

【討論】
— 反対討論 —
田中議員 十数年間、宅造は1区画も販売されておらず、29年度も売り上げ相当額800万円を計上しているが、現実に基づかない予算

条例廃止

入所児の減少等により、平成29年度3月31日をもって山白石特別保育所を廃止するもの。

【質疑】

問 閉所後は地域高齢者を中心とするサロンのような場所利用を。

答 地区の皆さんは廃止を承知しているので、いろいろ要望が出ています。皆さんの要望をしっかりと聞いて、地元の皆さんが喜ぶような使い勝手にしたい。今、その協議を始めるところである。

【採決】

全会一致で可決しました。

― 特別保育所設置条例 ―

山保40年の歴史に幕



“ありがとう” 山白石特別保育所の閉所式

― 幼稚園保育料等条例 ―

幼稚園保育料・入園料を無料に

浅川町立幼稚園保育料等に関する条例を廃止し、幼稚園保育料及び入園料を平成29年度より無料とするもの。

【採決】

全会一致で可決しました。

条例改正

― 国保税条例 ― 国保税の軽減 対象者を広げる

国民健康保険の制度改正に伴い、国民健康保険の軽減判定に用いる金額を引き上げ、軽減対象者を広げるもの。

【質疑】

問 軽減対象になる所得を引き上げること、

5割軽減・2割軽減、それぞれ何人ぐらい前年度の実績からすると

増えるのか。

答 調査していない。

【採決】

全会一致で可決しました。

管理職手当 10%カット

職員の給料の特別調整額(管理職手当)について引き続き、平成29年4月1日から30年3月31日まで、100分の10の減額を行うもの。

【質疑】

問 人事院勧告は基本的には毎年上げる方向にある。他の町村の状況は。

答 県内で管理職手当のカットを行っているのは、10から20市町村だったと思う。

【採決】

全会一致で可決しました。

4800万円の国庫補助

補正
予算

28年度一般会計予算から1億1888万円を減額し、総額を44億3835万円とするもの。補正予算の主な項目は表のとおりです。

地方創生拠点整備交付金は、町が立案した地方創生事業が採択になり、国から補助金が交付されるものです。

問 地方創生型若者向け定住・移住モデル住宅は、ニュータウン2区画に2棟つくるという説明だったが、どういう使い方をするのか。

答 浅川町創生総合戦略の中に、若者向け住宅環境の整備というくだりがあり、それを受けて2棟4戸の若者向け定住モデル住宅を建て、賃貸に出す。子育て世代、多町村から移住する場合ということ考えているが、賃料も含めある程度条件のいい形で今後細かいところを検討していく。

花火の里ニュータウンの協定書には、町で賃貸住宅を建てて貸してはならないという条項はなく、協定書には反しないと考えている。

質疑 若者向けモデル住宅とは



モデル住宅がつけられるニュータウン

■主な補正の項目

(単位:万円、千円未満切り捨て)

歳入

項目	補正額
地方創生拠点整備交付金	4,885
林業費県補助金	△ 3,092
財政調整基金繰入金	△ 1億3,730
個人町民税	1,150
固定資産税	1,720

歳出

項目	補正額
地方創生型若者向け定住・移住モデル住宅設計・監理業務委託	1,020
地方創生型多世代交流拠点施設設計・監理業務委託	110
上記2件の工事請負費	9,650 前者が8,000 後者が1,650
幼保一体化施設整備事業	△ 2億4,271

繰越明許費

事業名	金額
地方創生拠点整備交付金事業	1億0,970
幼保一体化施設整備事業	4億9,163

※繰越明許費とは

何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない見込みがある経費について、特別に翌年度1年間に限り繰越して使用することができるもの。

「地方創生事業」に

多世代交流拠点施設とは

問 地方創生型多世代交流拠点施設は、新しくつくる図書館に多世代の交流スペースをつくるということか。図書館の設計は完成しており、設計変更になるのか。図書館建設の町の負担は減ることになるのか。

答 設計変更の必要はない。新しくつくる図書館の図書館部分は町単独事業の図書館整備事業で、閲覧室等は補助金対応の多世代交流施設整備事業で対応する。従って、一般財源からの持ち出しは減ったのかなと思っている。

林業補助金減額の理由は

問 県からの林業補助金が減額になった理由は何か。

答 これは幼保一体化施設の保育所部分に地元産材を使うので補助金を受けるとのこと

だった。入札の結果安くなり、事業費が減ったことから補助金も減になった。

職員の超勤が減ったのか

問 超勤手当の説明の中で、一番多い時よりも30%くらい職員の超勤手当が削減されたことあったが、役場職員全体でそうなのか。

答 職員全員の超過勤務手当が、全体として30%減ってきた。この補正予算では914万円だが一番高かった時は1300万円だった。

働き方改革を加味した指導の成果がある程度あったと思う。

討論

― 反対討論 ―

上野議員 本予算の大半については必要性を認める。しかし繰越明許費4億9千万円余りの幼保一体化施設整備事業については、昨年12月議会で、規模が過大であると反対したばかりであり、新年度に

進めて良いというわけにはいかない。

― 賛成討論 ―

江田議員 この補正は全般的によく配分され、特に職員には残業手当を出し、なおかつ超勤手当は総額で30%減になっているという。よっ

て、私はこのことはすばらしいことと思っ

【採決】

賛成9人、反対2人で可決しました。



今年度、図書館に生まれ変わります

吉田富三記念館の 指定管理者

指定管理者に管理を行
わせようとする公の施
設の名称

吉田富三記念館

一般財団法人浅川町
吉田富三顕彰会
理事 内田宗寿

指定管理者となる団体
の名称

【採決】
全会一致で可決しま
した。



富三レストラン

施設組合の規約変更

石川地方生活環境施
設組合規約（昭和43年
規約第74号）の一部を
改正し、各町村の分賦
率を左表のように改め
るもの。

※各町村分担金の負担
率は、内規により5年
に1度見直しを行うも
ので、今回は27年国勢
調査人口及び平成27年
度のし尿処理及びごみ
処理の各町村の実績を

もとに算出されました。
平成29年度から新しい
負担率が適用される浅
川町においては、現在
負担率と変更なく15・
8%となっています。

【採決】
全会一致で可決しま
した。

請願

請願第1号

福島県最低賃金の引き上げと早期発効
を求める意見書提出を求める請願

請願者 日本労働
組合総連合会石川地
区連合議長 渡辺孝
男
紹介議員 金成英起

4 一般労働者の賃金
引き上げ時期を踏ま
え、福島県最低賃金
の改定諮問時期を可
能な限り早期発効に
努めること。
以上、地方自治法第
99条の規定により意見
書を提出する。

1 請願事項 —
福島県最低賃金に
ついては、政府が掲
げる「年3%程度を
目途に引き上げ、全
国平均で1千円を目
指す」との方針に沿
って相応の引き上げを
行うこと。
2 福島県の復興促進、
労働人口の県外流出
に歯止めをかけるこ
とを踏まえ、上積み
の改正をはかること。

【採決】
全会一致で採択しま
した。

3 中小・地場産業に
対する支援策等を強

改正前

石川町	41.3%
浅川町	15.8%
古殿町	13.3%
平田村	14.2%
玉川村	15.4%
計	100%

改正後

石川町	40.3%
浅川町	15.8%
古殿町	12.7%
平田村	15.0%
玉川村	16.2%
計	100%



【採決】
全会一致で同意しました。

住 所 浅川町大字浅川字大明塚118番地の58
氏 名 内田 賢 寿
生年月日 昭和26年7月生まれ

内田賢寿教育長が平成29年4月1日をもって任期満了となるため、新たに教育長として内田賢寿氏を任命することに同意を求めるとともに、新教育長制度に基づく教育長の任期は3年となります。



■ 3月定例会採決一覧 ○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない
全25議案中、21議案は全会一致で可決しました。賛否が分かれた議案は次のとおりでした。

議 案 名	渡辺 幸雄	金成 英起	須藤 浩二	緑川 富士男	江田 文男	笹島 亮二	水野 秀一	田中 重忠	上野 信直	角田 勝	久保木 芳夫	円谷 忠吉	議決結果 (賛成：反対)
浅川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
職員の育児休業に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
議会議員等及び職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
浅川町税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
浅川町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
浅川町立幼稚園保育料等に関する条例を廃止する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
浅川町特別保育所設置条例を廃止する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
浅川町公の施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成28年度浅川町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9：2)
平成28年度浅川町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成28年度浅川町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成28年度浅川町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成28年度浅川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択(11：0)
平成29年度浅川町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	可決(8：3)
平成29年度浅川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成29年度浅川町宅地造成事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	可決(10：1)
平成29年度浅川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成29年度浅川町介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成29年度浅川町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成29年度浅川町公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
平成29年度浅川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9：2)
平成29年度浅川町上水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
石川地方生活環境施設組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11：0)
教育長の任命につき同意を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意(11：0)

6人の議員が質問

(通告順)

1 江田文男議員

- (1) 防犯灯の設置要望が増えていると思うが全面的に要望に応えるべき
- (2) 中学校校門前の横断歩道を始め、町内の交差点の横断歩道の白線が消えかけている
- (3) 小・中学生の子どもの長所を伸ばす教育を更にお願したい

2 緑川富士男議員

- (1) 里白石字宿裏地内の側溝改修について

3 水野秀一議員

- (1) 曲屋・破石線道路改良工事の今後の工程について
- (2) 農地中間管理事業（機構）について

4 田中重忠議員

- (1) 公民館、町民体育館の耐震改修工事について
- (2) 図書館設置事業の内容について
- (3) 中学生のJ T跡地での送迎について
- (4) 工業団地造成と企業誘致について
- (5) 幼保一体化・子ども園施設建設について
- (6) 庁舎建設基金への一般会計からの繰り戻しについて

5 上野信直議員

- (1) 待ち望まれている石川地方の公的特養ホームの増設・増床に積極的な取組を
- (2) 側溝土砂の放射能汚染調査結果と国の補助金を受けて行う除去計画はあるか
- (3) 重度心身障害者の外出を支援するタクシー等利用助成制度の充実を
- (4) 災害時の非難行動要支援者の避難個別計画をどう策定していくのか
- (5) 花火の里ニュータウン特別分譲の結果と教訓及び今後の分譲への取組は
- (6) 畑を平米6,000円で買って、今後、町の用地買収基準をどうするのか

6 角田勝議員

- (1) 幼保一体化施設での保育内容の充実と幼稚園の通園バスの無料化を
- (2) 高齢化社会に向けた地域公共交通等の実現をはかるべき
- (3) 町農業の地域に合った振興策を計画し、その実行を
- (4) 猪の被害防止対策を充実すべき
- (5) 企業誘致を積極的に行い、働く場づくりをすることこそ重要な課題ではないか
- (6) 空家対策での具体的事業は？民泊などへの利用希望があります、ぜひ実現を

町の考えを
ただす

町民の声を
伝える

町政に
生かす

一般質問は3月3日に行われ、6議員が24件の質問を行いました。真剣な議論を16人の方が傍聴されました。

一般質問

防犯灯の設置要望には全部応えるべき



江田文男議員

公共性のある箇所から順次設置

問 各地区から防犯灯の設置要望が増えていくと思う。今の時代、事件事故があまりにも多すぎると思う。特に暗い所の一人歩きは危険。若い世代の女性が被害にあうケースが多い。防犯灯があつて安心安全につながると思う。現在要望は何件あり、本年度中に何件設置できるのか。安心安全のために全ての要望に応えるべきと思うが伺う。

町長 平成28年度の要望箇所は、31件あった。現地確認の結果、6件について順次設置する予定である。すべての要望に応えるべきという質問だが、設置要望箇所の現地確認をして、公共性のある箇所から順次設置をしていく。



浅川中学校前の横断歩道

消えかけている白線の引き直しを

公安委員会に要望をしていく

問 中学校校門前の横断歩道、町内の交差点にある一旦止まれや横断歩道が消えかけている。小中学生が横断する時は一番大事な歩道ではないか。白線が見えないのは子どもたちには大変危険だと思う。4月から小学校の新入生が通学する。速やかに白線の引き直しをすべき。特に中学校校門前の横断歩道、信金前の交差点の4カ所の横断歩道は必ず毎日小学生が通る歩道となっている。対応を伺う。

町長 横断歩道白線や停止線の区画線の設置及び管理は公安委員会が管轄しており、公安委員会に要望をしていく。

曲屋・破石線 道路改良工事の工程は

着手後5年以内の完了を目指す



水野秀一議員

問 長い間山白石地区をはじめ曲屋破石の方々の待ち望んでいた、曲屋破石線が29年度より予算も計上され着工する運びとなった。これも地権者をはじめ町当局の御理解のおかげと感謝申し上げます。第5次振興計画では、平成31年度完成となっている。29年度は用地補償物件補償となっているが、完成までの年度別工程について伺う。

町長 平成26年度から継続事業で取り組んでおり、29年度に用地等の協力をお願いする。30年度の工事着手を見込んでいる。振興計画

における31年度完成は、事業計画期間が5年程度としているためである。国からの交付金により実施する関係上、予算の割合が低額であるため計画どおりの進捗となっていないのが現状であるが、工事着手後は、5年以内の完了を目指している。



早期改良が望まれている曲屋・破石線

農地中間管理事業の 取り組みは

農業委員、農地利用最適化 推進員と連携し推進する

問 高齢で農業をやめたい、規模を縮小したい、農地を誰かに貸したい、農地を誰かにまかせたい、人と規模を拡大したい、農地をまとめて効率化したい、農業を始めたいので土地を借りたいなど、農地を借りたい人たちのために公的な立場で責任を持って農地を仲介する福島県農地中間機構があるが、浅川町ではどのような取り組みをしているのか伺う。

町長 現在も農地中間管理機構を通じた農地の貸し借りを行っているが、現在作成中の農地プランを基に来年度から新しい体制となる農業委員、農地利用最適化推進員と連携し、本事業の周知、推進を図りたいと考えている。

J T 跡地を中学生の送迎場所にした理由は

中学校から要望があった



田中重忠議員

問 昨年9月から中学生の登下校送迎場所がJ T 跡地に決まった。

この変更により中学生は雨、風、雪の中でも吹きさらしの中で父兄を待つことになる。生徒の健康と管理の面から好ましくない。再検討すべきと思う。

1、送迎場所の変更を決めた理由と中学校へのこの通達はどこからきたのか。

2、教育長答弁の「15分程度で送迎がスムーズに終了する」は事実か。

3、登下校時の暑さ寒さ、雨、雪など生徒に対する健康上の配慮を十分にすべきではないか。

教育長 1、学校からの要望で旧専売公社跡地を利用したいということだった。中学校校長名で、保護者宛に平成28年8月25日付けで、送迎場所変更を通知し9月1日から実施するお知らせである。

2、教員が校門、J T 跡地、役場前等で下校を指導しており、15分程度で下校が完了している。

3、天候や寒暖の差への対応は、発達段階を考慮して、生徒自身の健康管理を促す指導をしている。

J T 跡地での送迎



企業誘致の問い合わせは

問い合わせ等はなかった

問 浅川町では須藤町

長になってからこれまで1社も企業が誘致されていない。また「私は公の場で企業誘致します、やります、とただの一度も発言したことはない」と議会で答弁している。

1、28年9月議会で「問い合わせ等ありましたら真摯に対応する」と答弁したが、その後町に問い合わせ等あったのかどうか。またどのように対応したのか。

2、以前町長が議会で答弁したことのある町内企業が、石川町の工業団地に用地を購入したとの話があるが、町長は聞いているか。ま

た町はこの企業にどのような対応をしたのか。

町長 1点目については、問い合わせ等はなかった。

2点目については、承知していない。また特に対応はしていない。

今後、畑の買収基準を どうするのか

町の基準価格表で理解求める



上野信直議員

問 町は2年前に箕輪坂前地内の畑を、町の用地買収基準1㎡1400円も不動産鑑定士の1㎡3500円も無視し、1㎡6000円で買った。原則を崩し、説明がつかないこの単価は、心配したとおりその後の町の事業に影響し、役場前通り延伸事業で昨年暮れ、畑1400円で提示したところ、地権者から反発を受け、6000円で買う事態になった。公平な扱いを求める地権者の要求は当たり前である。今後、町が協力をお願いする用地買収で同様のことがおきるだろうが、畑の買収基

準をどうする考えか。他町村と比べ全く異なる価格で買収せざるを得なくなった責任をどう認識しているか。

町長 今後、公共用地の取得に当たっては、町の用地買収基準価格表により、十分な説明を尽くし、理解を求める。責任については、公共の利益となる事業のための必要な土地の取得であり、地域の特殊な事情により考慮したもので、責任を問われるものではないと判断している。

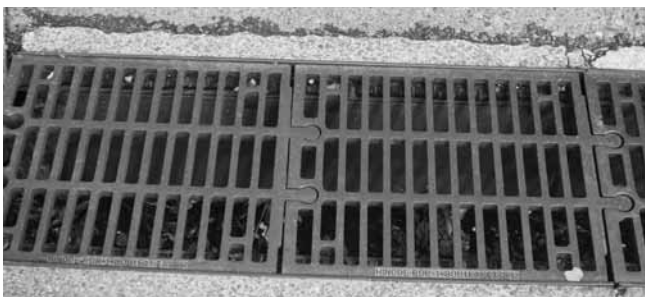
問 東電原発事故から6年がたち、空間線量は下がったが、土砂がたまる側溝はどうなっているかと不安を持っている。人は少なくない。現行国は、除染基準を下回る道路側溝土砂についても補助金を出して除去を応援するとしている。まず、わが町の側溝の汚染状況を伺う。

町長 平成28年10月に復興庁及び環境省より除染対象以外の道路側溝の堆積物の撤去処理について、対応方針が示され、関係する事業対象の調査依頼があり、同月に、予定する延長を県に報告している。現況等の具体的な調査はしていない。

今後、福島再生加速化交付金を受けて取り組む20町村には浅川町も入っており、堆積土砂の状況を調査し、土砂除去に取り組むかどうか判断する。

側溝の汚染土砂除去に 取り組むのか

状況を調査して判断する



町内企業の町外移転に どう対応したのか



角田 勝議員

一度用地の確保に努力した

問 人口減をくい止めて若者などが働ける企業誘致は重要な課題である。

1、町は袖山と東大畑にまたがる工業団地用地を指定し「ニッセイ株式会社」が立地したが、この地域での用地利用はどうかっているのか。

2、新しい地域指定もあるのか。

3、町内の会社で生産技術で将来性のあるといわれる山白石の「NTS」生田目製作所が石川町の工業団地へ移転することのこと。私は一昨年に町から出ないように町はきちんと対応するように一般質問

をして、何としても町に土地を確保するようにきちんと対応するよう要請したが、その後の対応はどうかしているのか。

町長 1、地域指定については、企業立地促進法によるものは浅川町全域、東日本大震災復興特別区域法によるものは大同信号付近の浅川地区、浅川工業団地、ニッセイ付近の浅川南工業団地、大明塚地区となっている。

2、今のところ考えていない。

3、一度用地の確保に努力したが、最終的に契約には至らなかった。

イノシシの 被害防止策の強化を

駆除隊と協力しながら 進めていく

問 毎年被害が拡大している。山白石では馬鈴薯を3度もまき直したとのことだ。古殿町では60頭も捕獲され、2人の方が重傷を負う被害も出たそう。町でも被害防止のために対策を強化すべきだ。

1、猟友会、有害駆除隊と協調し支援などはあること。

2、電気柵や金網、忌避剤等の費用代金の補助をすべき。

3、ワナなどを町がもつと購入し、数も増やして捕獲すること。また、子どもなどへの被害が



駆除されたイノシシ

町長 1、駆除隊と意見交換しながら、引き続き支援・協調を図っていく。

2、各種被害防止費用等への補助については、来年度に石川地方で実施予定の被害状況調査を受け、効果的な対策を検討したい。

3、町の有害鳥獣被害対策協議会を通じ購入する予定である。パンフを作るのでその中で対応したい。

里白石宿裏地内の側溝の改修を

29年度内の完了を図る



緑川富士男議員

問 里白石字宿裏地内の側溝は約50年くらい前に作られたと聞いている。当時は生コン車などはなくミキサーや手でコンクリートを作り、工事が自宅前にくると手伝いをしたと聞いている。堀の幅が違いフタなどはできないのでU字溝に改修していただきたい。

町長 改修工事については、平成28年度からの継続工事で必要額の予算を計上し、年度内の完了を図る計画である。



宿裏地内の古い側溝

議会傍聴におこしく下さい

平成29年6月定例会

6月8日(木)から予定
— 9時開会 —

議会傍聴の手続きは簡単です。2階傍聴席入口で住所と名前を書きだけで、だれでも傍聴することができます。

一般質問は6月9日(金)に行われる予定です

あの提言はどうなってるの？

城山、弘法山の手入れをして 公園らしい場所に

平成28年9月定例会

答

今回の補正予算の地方創生加速化交付金事業の一環として、委託事業の中で剪定等を実施する予定である。

問

城山も弘法山も浅川町のパンフでは公園と紹介されているが、樹木は伸び放題。計画的に手入れをすべきでは。



造園業者による樹木の剪定が昨年からは始まり、最後の仕上げには町民も約30人が参加しました。(3月12日)

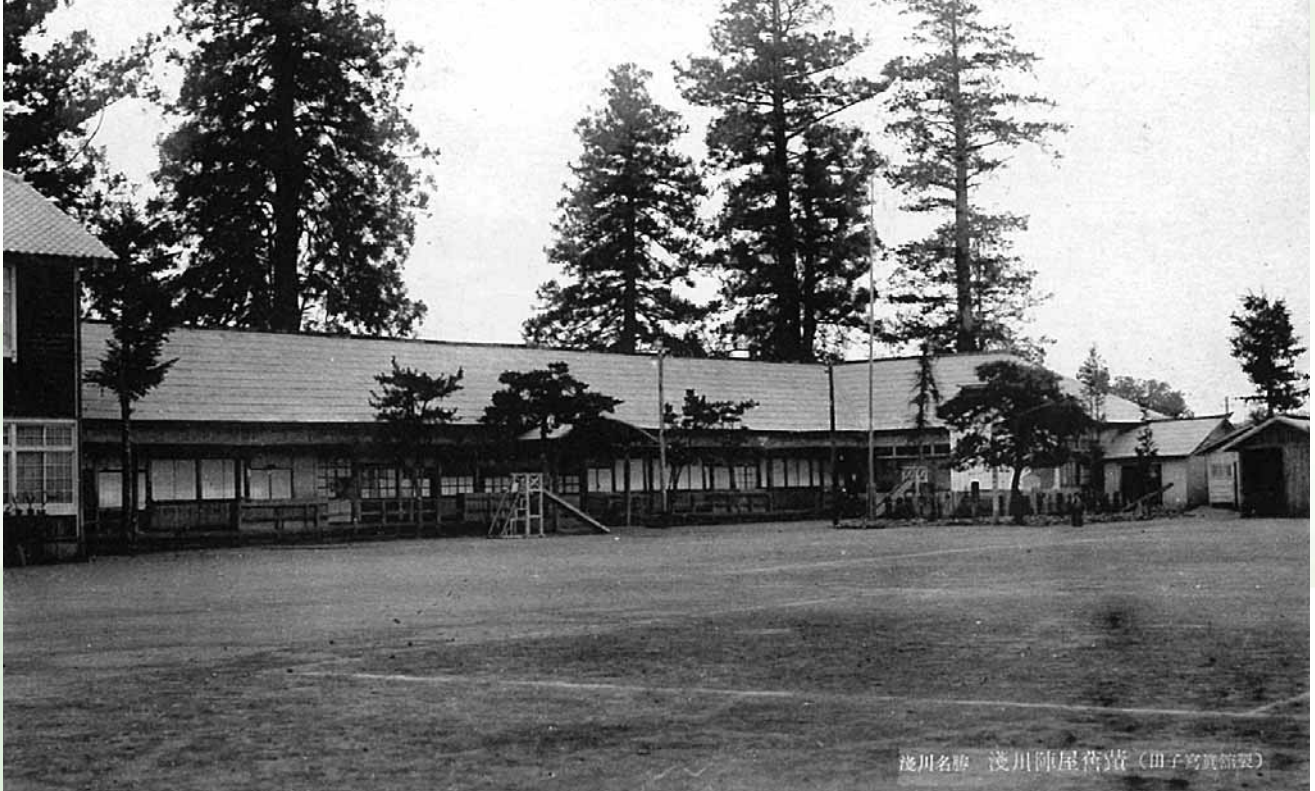
剪定されてさっぱりしました



手入れ前の城山公園



交流のページ



浅川名勝 浅川陣屋舊蹟 (田子写真館蔵)

昭和15年頃 新生浅川町紹介／荒町 水野剛雄氏提供

田子写真館が発行した浅川名勝ブロマイド5枚セットの1枚で、浅川陣屋跡にできた浅川小学校。
※貴重な写真なので5枚を順次ご紹介します。

古里 写真館

Vol. 4

Photograph

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-1182



昭和32年 青葉橋の渡り初め／荒町 矢吹幸三氏提供

月斎陣場から城山に向かって殿川にかかる青葉橋が架け替えられました。以前の橋は、大雨で流れてもいようにワイヤーでつながれた板橋でした。

浅川の歴史さんぽ

釜子の陣屋は

— 浅川陣屋の移築だった —



浅川町里白石
郷土史家

— 寄稿 —

川音正平 さん

文化6年(1809)徳川幕府の配慮により、高田藩領の領地の差替えが行われ、浅川陣屋支配の五万石は幕府領となり、浅川三万四千石余は高田藩領として釜子陣屋で支配することになった。

この程、釜子の大庄屋鈴木家で所蔵していた文書(写真版の文書)により、釜子の陣屋は新築されたのではなく、浅川にあった陣屋を解体し、釜子まで運搬し移築したもので、短期間で完成したことが判明した。

その内容は「覚」として御陣屋御引越に付、御用御荷物附馬割り、尤も壺疋に付き米式升づつ下し置かれ候。とあり、八月十四日より八月十五日までの五日間で小貫村は馬二十三疋・釜子村は四十九疋・上野出島村三十七疋・大竹村五疋、右は御陣屋引越に付、釜子へ御用御荷物附馬割振り致し候間、相違無く差し出されべく候。以上

巳八月十三日 大庄屋卯
各村々庄屋中 とある。

五日間で延馬147疋が使役に動員され、解体資材や備品・書類等が、浅川から釜子まで運搬されたのである。陣屋は運搬した資材

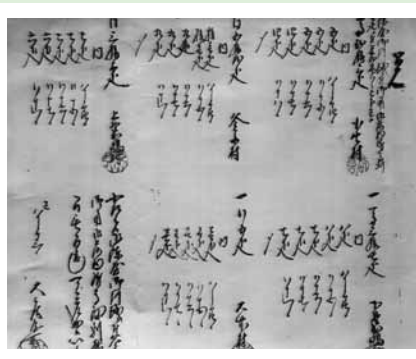
を利用し、短期間で完成し支配体制に入ったことが推察できる。

釜子陣屋の支配の村々は41か村で、その内訳は西白河郡27か村・岩瀬郡14か村で、大庄屋組は栃本組・釜子組・分家浜尾組・浜屋組・前田川組の6組であった。領奉行には高田藩家中から、若くして手腕のあった吉田林右衛門弘が抜擢されて任務についている。

幕府領となった浅川は、三度目の陣屋を、現浅川小学校の敷地に文政3年(1820)新築完成した。初代の浅川代官には竹内平右衛門が着任し、幕府の直接支配となった。

文化6年から文政3年までは、釜子陣屋の領の支配であったのである。

戊辰戦争で、慶応4年6月25日釜子陣屋は消失し、58年間の歴史を終えた。



浅川の歴史さんぽに寄稿いただいたおりました郷土歴史家の川音正平先生が、二月二十日に逝去されました。享年八十八歳でした。先生は、教員退職後に浅川町史編纂に御尽力され、浅川町の歴史について研究をされておりました。縁があつて議会だよりの「浅川の歴史さんぽ」のコーナーに浅川町の歴史や名所旧跡等について寄稿いただき43回を数えました。浅川町の歴史についてわかりやすく書かれており、楽しみにしている多くの読者がいると聞いておりまして、今回の寄稿が最後になることは大変残念であります。十年以上にわたり、大変ありがとうございました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

浅川町議会議長

円谷忠吉

町民の声

他チームが来町した際
宿泊できるような施設があれば



浅川ファイヤーズ代表 我妻起一さん

プロフィール

浅川町福貴作生まれ
高校卒業後白河信用金庫に入庫
軟式野球部に所属しふくしま国体に出場
現在、浅川町内の小学生に野球を指導している



あさかわファイヤーズは、2010年に創部され、小学校1年生から6年生を対象とした学童軟式野球のチームです。普段は里白石小学校校庭で練習をしています。

各種大会の成績では、平成28年に高野山で開催された、全国学童軟式野球大会に出場。平成27年には、マクドナルドカップ福島県大会で初優勝いたしました。

まずは子供達に楽しく野球を覚えてもらえるように指導しています。日頃より浅川町および町議会には大変お世話になっております。これからも、子供達がスポーツを楽しめる環境をソフト面・ハード面の両面から作って頂けることをご期待申し上げます。

編集後記

三寒四温のこの時期、寒さに耐えた蕾もきれいな花を見せてくれる季節となりました。私たちも読みやすく、わかりやすい広報誌づくりを目指しています。皆様のご意見を、ぜひお寄せ下さい。 久保木 芳夫
広報特別委員会 上野 信直 須藤 浩二 渡辺 幸雄
金成 英起 水野 秀一 久保木芳夫